



【特別支援学校のセンター的機能】

～しろがね分校による地域支援～

しろがね分校では専門アドバイザーが中心となり、前橋市・玉村町・渋川市・吉岡町・榛東村の小学校・中学校・幼稚園・保育園を訪問したり、保護者に来校していただいたりして、発達気になる子供達についての継続的な支援を行っています。

3月12日現在の相談依頼の件数(外部支援)

対象	幼稚園 保育園	小学校	中学校	高等 学校	特別支援 学校	その他	計
件数	215 件	222 件	86 件	8 件	11 件	22 件	564 件

(その他は来校相談や電話相談)

専門アドバイザーの仕事を紹介します。



小・中学校への訪問については、専門アドバイザーがよりよい支援を行えるように、今年度から各エリアごとに1校（エリアサポートモデル校）を決めて、きめ細かいサポートができるように対応させていただきました。

今年度の中部エリアのモデル校は伊勢崎市立あずま中学校であり、主に行った4つの取り組みについて紹介します。

- 1 モデル校の先生方の資質向上のために、校内研修として大阪大学大学院・大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所 特任講師 和久田学先生をお呼びして、「新しい生徒指導」という題で話をさせていただきました。

体罰がどうして悪いかを脳の写真をもとに話していただいたのが、私にはとても役に立ちました。

- 2 モデル校の生徒への障害理解の授業の一環として、「自信を持って生き

よう」という題で、のぞみの園の精神科医・有賀先生から、お話をいただきました。学年ごとにテーマを変えた話をしていただき、特に3年生に対しては「人生最初の分岐点」というテーマで、悩みとそれを乗り越えるためのスキルを興味深く聞かせていただきました。

- 3 臨床心理士の先生や児童相談所その他の専門家を呼んで、2回ほどケース会議をしました。
- 4 県教育委員会の指導主事と一緒に月に3回ほど訪問し、支援の方法を話し合い、話し合った結果として目標や支援の手立てを記入した支援シート（個別の指導計画）を訪問のたびに作らせていただきました。

エリアサポートモデル校では通常学級のお子さんの支援をいろいろな角度から、いろいろな人材を使って行います。



来年度以降もエリアサポートモデル校を決めて、専門アドバイザーが地域の学校をよりよくサポートできるように努力していきたいと思います。

ご興味がございましたら、モデル校として名乗りをあげていただき、必要なサポートを要望していただければ、ニーズに合った支援ができると思っています。

今後ともよろしくおねがいします。

お子さんの指導で相談したいことがありましたら、お気軽にご連絡ください。障害の有無に関係なく気になる子がいる、あるいは、何となくクラス全体が落ち着かないなどの相談でも結構です。

少しでも悩んでいたら、ご連絡ください。お伺いします。1年間、お世話になりました。

渡良瀬養護学校しろがね分校

専門アドバイザー

電話 027-268-6111